

第10回 全国市議会議長会 研究フォーラム



主催者挨拶



全国市議会議長会会長
高松市議会議長

岡下 勝彦

我が国が、将来にわたり活力ある社会を維持していくためには、人口減少に歯止めをかけ、それぞれの地域で住みよい環境を確保していくことが極めて重要です。

そのため、現在、国と地方は一致協力して地方創生に向けた取組を進めており、地方議会としてもそれぞれの地域において執行機関と連携し、様々な施策の展開に取り組んでいるところです。

また、人口減少・少子化の問題が国民的課題となっている今日、議会は住民代表機関として、地域の先頭に立って人口減少時代に的確に対応していく必要があります。

第10回目として、ここ福島市において開催いたしました本フォーラムは、全国の市区議会議員が一堂に会し、さらなる地方議会の機能強化を目指し、共通する課題や今後の議会のあり方について意見交換を行うとともに、議員同士の一層の連携を深めることを目的としております。

今回は、東日本大震災の被災地に槌音が響く復興の取組も参考としながら、地方創生において地方自治体、とりわけ地方議会がどのような役割を果たすべきか、また同時に、福島市での開催であることから、災害対策や震災復興と地方議会の関係について広く討議してまいります。

各分野における専門家、識者の方々や議員の皆様方によって活発な議論が交わされ、実りある成果が得られますことを期待するとともに、皆様方の今後の活動の一助となることを祈念いたします。

プログラム

第1日目 11月18日(水)

12:00	開場・受付
13:00	開会式
13:20	第1部 基調講演「大震災からの復興と備え」 五百旗頭 真 熊本県立大学理事長
14:20	休憩
14:40	第2部 パネルディスカッション 「震災復興・地方創生の課題と自治体の役割」 コーディネーター 城本 勝 NHK福岡放送局局長 パネリスト 大滝 精一 東北大学大学院経済学研究科教授 役重眞喜子 花巻市コミュニティアドバイザー 山下 祐介 首都大学東京准教授 金井 利之 東京大学公共政策大学院教授 高木 克尚 福島市議会議長
16:40	次期開催地挨拶
16:50	終了
18:00	第3部 意見交換会 [会場:エルティ(福島県文化センターからバス移動)]
19:00	終了

第2日目 11月19日(木)

8:30	開場
9:00	第4部 課題討議 「震災復興と議会～現場からの報告」 コーディネーター 河村 和徳 東北大学情報科学研究科准教授 事例報告者 伊藤 明彦 陸前高田市議会議長 熊谷 伸一 気仙沼市議会議長 平田 武 南相馬市議会議長
11:00	閉会式
11:30	第5部 視察

基調講演



五百旗頭 真

いおきへ まこと／熊本県立大学理事長

1943年兵庫県生まれ。67年京都大学法学部卒業。69年京都大学大学院法学研究科修士課程修了。法学博士。広島大学助手・講師・助教授、神戸大学教授、防衛大学校校長等を経て、2012年より現職。公益財団法人ひょうご震災記念21世紀研究機構理事長、神戸大学名誉教授、防衛大学校名誉教授も務める。日本政治学会理事長、東日本大震災復興構想会議議長、復興庁「復興推進委員会」委員長などを歴任。主な著書に『戦後日本外交史』（有斐閣）、『歴史としての現代日本』、『日本は衰退するのか』（以上、千倉書房）ほか多数。

パネルディスカッション



城本 勝

しろもと まさる／NHK福岡放送局局長

1957年熊本市生まれ。一橋大学社会学部卒業。82年NHK入局。福岡放送局を経て87年、報道局政治部へ。首相官邸、自民党、民主党などを担当し、政局、国会、選挙を中心に取材。広島放送局選挙担当デスク、政治部副部長などを経て2004年から解説委員。政治全般、選挙、地方自治を中心に担当。12年から解説副委員長。15年から福岡放送局長。日本自治学会理事も務める。



大滝 精一

おおたき せいいち／東北大学大学院経済学研究科教授

1952年長野県生まれ。東北大学大学院経済学研究科博士課程後期課程単位取得退学。専修大学助教授等を経て、現職。専門分野は、経営政策論。日本ベンチャー学会理事、組織学会評議員等を歴任。せんだいみやぎNPOセンター代表理事、東北ニュービジネス協議会理事等を務めるほか、東日本大震災後は公益財団法人地域創造基金さなぶり理事長、東北未来創造イニシアティブ代表発起人等を通じ、震災復興に尽力する。主な著書に『事業創造のダイナミクス』（白桃書房）、『経営戦略（新版）』、『ケースに学ぶ経営学（新版）』（以上、有斐閣）など。



役重 眞喜子

やくしげ まきこ／花巻市コミュニティアドバイザー

1967年生まれ。千葉県出身。東京大学法学部卒業。農林水産省入省後、農家研修で出会った岩手県東和町の「人」と「牛」に魅せられ、農水省を退職、定住。東和町役場で農林課主幹、教育次長等を務め、市町合併後は花巻市地域づくり課長、東日本大震災時は総務課長として防災を担当。2012年に早期退職し、現在、岩手大学大学院博士課程で平成の合併と自治体・地域コミュニティ関係の変容を研究。花巻市教育委員も務める。著書に『ヨメより先に牛がきた』（NHKドラマ化）、連載に月刊誌『地上』エッセイ『ふるさとづくり』（以上、家の光協会）がある。



山下 祐介

やました ゆうすけ／首都大学東京准教授

1969年富山県生まれ。九州大学文学部助手、弘前大学人文学部准教授を経て現職。専門は社会学、地域社会学、環境社会学。『津軽学』（津軽を学ぶ会）の運動にも参加している。主な著書に、『限界集落の真実 過疎の村は消えるか』（生協総研費）、『東北発の震災論 周辺から広域システムを考える』、『地方消滅の罫「増田レポート」』と人口減少社会の正体（以上、筑摩書房）、編著に『白神学』第1巻～第3巻（ブナの里白神公社）など。



金井 利之

かない としゆき／東京大学公共政策大学院教授

1967年群馬県生まれ。東京大学法学部卒業。東京大学法学部助手、東京都立大学法学部助教授、東京大学大学院法学政治学研究科助教授を経て、2006年から現職。1994年から2年間オランダ国立ライデン大学社会科学部客員研究員。主な著書に、『自治制度』（東京大学出版会、公共政策学会賞）、『実践自治体行政学』（第一法規）、『ホーンブック地方自治（改訂版）』（北樹出版、共著）、『原発と自治体』（岩波書店、自治体学会賞）など多数。このほか、『月刊ガバナンス』（ぎょうせい）、『議員NAVI』（第一法規、ウェブマガジン）、『月刊地方自治職員研修』（公職研）などに連載。



高木 克尚

たかぎ かつひさ／福島市議会議長

1955年福島市生まれ。福島県立福島工業高等学校卒業。2002年12月福島市職員を退職。2003年5月から福島市議会議員を務め、現在4期目。この間、建設水道常任委員会、議会運営委員会の各委員長を歴任。2015年8月に福島市議会議長に就任。2014年に施行された議会基本条例策定にあたり、条例施行に伴う検討事項の中で、通年議会に関することや、会議の公開、傍聴手続きの簡素化等の課題を議会運営委員会において、検討することとされ委員長として取りまとめに努めるなど、議会改革に尽力する。

課題討議



河村 和徳

かわむら かずのり／東北大学情報科学研究科准教授

1971年静岡県焼津市生まれ。98年慶應義塾大学法学部研究科博士課程単位取得退学。同年慶應義塾大学法学部専任講師（有期）、99年金沢大学法学部助教授、2004年東北大学情報科学研究科助教授、07年法令改正に伴い准教授。専門は、政治意識論、地方政治論、日本政治論。主な著書に『東日本大震災と地方自治』（ぎょうせい）、『市町村合併をめぐる政治意識と地方選挙』（木鐸社）など。



熊谷 伸一

くまがい しんいち／気仙沼市議会議長

1957年気仙沼市生まれ。80年東北学院大学卒業。合併前の2001年6月から議員を務め、現在通算5期目。総務教育常任委員会委員長、産業経済常任委員会委員長、議会運営委員会副委員長、副議長を務め、15年8月に第5代議長に就任。東日本大震災から4年7カ月が経過した今、震災からの1日も早い完全復興、地方創生によるまちづくりを推し進め、市民の幸せな暮らしの実現に向け、取り組み行動する議会を目指している。



伊藤 明彦

いとう あきひこ／陸前高田市議会議長

1954年岩手県陸前高田市生まれ。77年亜細亜大学卒業。80年から99年まで陸前高田市農業協同組合に勤務。99年4月から陸前高田市議会議員を務め、現在5期目。2011年8月に前議長の急逝により第18代議長に就任。同年9月に第19代議長に就任。2015年9月に第20代議長に就任。この間、議会運営委員長、副議長及び東日本大震災復興対策特別委員長等を歴任。陸前高田市議会基本条例の制定にかかわる等、議会改革に取り組みながら、陸前高田市の復興に向けた議会運営に努めている。10年から11年まで陸前高田ライオンズクラブ会長。



平田 武

ひらた たけし／南相馬市議会議長

1948年生まれ。68年福島県立農業短期大学卒業。合併前の旧原町市議会議員を2期務め、2006年から南相馬市議会議員を務める。現在4期目。文教常任委員会委員長、建設経済常任委員会委員、総務常任委員会委員、議会運営委員会委員長を務め、14年12月より3期目の議長を務める。